

会 議 録

会 議 の 名 称	弘前市指定管理者選定等審議会	
開 催 年 月 日	令和3年10月28日(木)	
開 始 ・ 終 了 時 刻	9時55分 から 10時40分まで	
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館3階防災会議室	
議 長 等 の 氏 名	森岡 欽吾	
出 席 者	委員 森岡 欽吾(会長) 委員 後藤 千登世 委員 飯島 裕胤 委員 小林 太郎	
欠 席 者	委員 菊池 励美	
施設所管部職員の 職 氏 名	(弘前市立図書館等) 教育部長 鳴海 誠 生涯学習課課長 原 直美 生涯学習課課長補佐 山崎 宏 生涯学習課主事 三上 洋子 生涯学習課 図書館・郷土文学館運営推進室室長 高橋 晋二 (鳴海要記念陶房館) 教育部長 鳴海 誠 博物館館長 石岡 博之 博物館館長補佐 小林 純子 博物館主幹兼運営係長 高橋 貢 博物館主査 大高 堅壺 (旧藤田家住宅) 教育部長 鳴海 誠 文化財課課長 小山内 一仁 文化財課課長補佐 鳴海 淳 文化財課文化財保護係主幹兼係長 小石川 透 文化財課総括主査 村上 真知子 文化財課主事 清野 優雅	
事務局職員の 職 氏 名	管財課課長 工藤 浩 管財課施設マネジメント係主幹兼係長 坪田 幸治 管財課施設マネジメント係主査 富田 正史 管財課施設マネジメント係主事 工藤 寛明	

<p>会 議 の 議 題</p>	<p>案件</p> <p>1. 弘前市立図書館ほか計6施設の指定管理者候補者の選定について</p>
<p>会 議 結 果</p>	<p>1. 弘前市立図書館ほか計6施設の指定管理者候補者の選定について</p> <p>(1) 弘前市立図書館等 TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体を弘前市立図書館等の指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(2) 鳴海要記念陶房館 一般財団法人岩木振興公社を鳴海要記念陶房館の指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(3) 旧藤田家住宅 弘前ペンクラブを旧藤田家住宅の指定管理者候補者に選定する。</p>
<p>会 議 資 料 の 名 称</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案件対象施設及び指定管理者候補者選定結果一覧（資料1） ・ 指定管理者制度の導入に係る方針（資料2） ・ 指定管理者制度に係る今後のスケジュール（資料3）

<p>会 議 内 容</p>	<p>(議長) 全体の概要について、事務局の説明を求める。</p> <p>(事務局) 施設所管課において、募集の受付を行い、受付終了後、施設を所管する教育委員会に小委員会を設置し、総合評価方式による評価を行った。</p> <p>総合評価方式は、あらかじめ設定した評価項目に沿って小委員会の各委員が評価を行い、評価点が最も高い申請者を選定案とするもので、選定方法が非公募等で 1 社であった場合でも 100 点満点換算で 60 点を最低基準としており、基準に満たない場合は候補者として選定しないものとしている。</p> <p>(議長) 弘前市立図書館ほか計 6 施設の指定管理者候補者の選定案について、審議を行う。</p> <p>会議の進め方は、募集グループごとに、施設所管部からの説明及び質疑を行い、審議することとする。</p> <p>それでは、教育委員会から、弘前市立図書館等の指定管理者候補者の選定案について説明をお願いする。</p> <p>＜施設所管部 説明＞</p> <p>(議長) 以上の説明について、質問や意見はないか。</p> <p>(委員) 管理運営の基本方針において、今後は学校図書館訪問業務を強化すること、非来館型のサービスとして電子図書館サービスに取り組むこととしており、新しい提案だと考える。地域の子どもたちの広い意味で学力を高めていくことは、市にとっても重要であり、市と連携していくということで期待できる。</p> <p>指定管理者候補者が現管理者としてこれまでの管理運営や今回のような提案、方針がどれくらい達成できたのかを次の選定にどのように反映していくのか考えを聞かせてほしい。</p> <p>応募者において現行の管理結果の総括を明確にし、それを踏まえて提案してもらいたい。例えば、指定管理期間は 5 年だが、中間評価の際に指定管理期間における総括を評価するのもよい。図書館は市の想定したものをそのままやるのではなく、指定管理者自身の新しい創意工夫が重要になってくるため、どのように掘り起こしていくのか、運営面、制度面両方で考えたらよいだろう。</p>
----------------	---

(施設所管課)

指定管理者候補者から提案のあった電子図書館や学校訪問といった取り組みは、市の図書館運営の考え方にも係わることであるため、教育委員会と十分に協議していくとヒアリングの際にも説明を受けている。

提案されている事業内容の達成状況の評価については、毎年度実施しているモニタリングにおいて提案を受けた事項がどの程度進んでいるかを評価していきたい。

図書館と郷土文学館の運営については、図書館・郷土文学館運営推進室と指定管理者で毎月1回会議を開いて、事業の進捗度や新たな事業について話す機会を設けており、その際に、いただいた意見のような観点で協議していきたい。

(委員)

モニタリングは必要なことだと思う。我々が市民の代表だとすれば、市民の目に触れるこういった選定の場に出てくる必要があるから、今後検討していただきたい。

指定管理者はチャレンジしているので、達成できたこと、達成できないこともあり、どういった課題があるかということを詳らかにすることが非常に重要だと思う。どのようにするかは市の判断もあるが、そのような方向で考えていただきたい。

(委員)

弘前市と指定管理者候補者の費用を比較すると、広告宣伝費が市は0円だが指定管理者候補者は700万円である。また、人件費をみると、弘前市は約1億円だが、応募者は9,600万円である。

広告宣伝費について、指定管理者候補者と弘前市の費用の違いはどういったものがあるのか。また、広告宣伝費はどういったものを想定しているのか。

(施設所管課)

指定管理者候補者の役割分担では、主にTRCは図書館の運営、弘前ペンクラブは郷土文学館の運営、アップルウェーブは双方のPR事業、映像コンテンツの作成をしている。図書館においては、SNSやラジオ、フリーペーパーapli(アプリ)による情報提供、郷土文学館でもラジオでのPR、文学館の中で使用している映像作品への関与等を行っている。

市の算定ではPRに係る事業分を人件費として想定していたが、指定管理者候補者は広告を担う部分の経費として、二人分相当の人件費を含めて広告宣伝費として計上している。

(委員)

前回の審議会において、成果指標の話があったが、来館者数を取り入れるといった検討はどうなったのか。

(施設所管課)

前回の審議会での意見を基に検討し、図書館の全体的な利用促進も考えて、来館者数も新たな指標として追加しており、目標基準値に来館者数も追加している。

(議長)

他に質問等がなければ、弘前市立図書館等の指定管理者候補者の選定案については、妥当であるとしてよろしいか。

<委員了承>

(議長)

次に、教育委員会から、鳴海要記念陶房館の指定管理者候補者の選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

期待もできるし、実績も十分に上がっていると思う。選定結果の点数がもっと高くてよいとも思うが、何か懸念される事項があったのか。

(施設所管課)

選定結果については、小委員会委員がかつて訪れたときに感じた印象などがマイナスポイントとなっている。それに関しては、指定管理者に伝えた上でサービス向上が図れると思うので、改善することで今後点数が高くなるだろう。

(委員)

どういった点がマイナスとなったか。

(施設所管課)

地域のコミュニティとしてある程度地位を確立しているので、一見さんの利用者がイベント等に参加した際に、どうしたらいいのだろう、と温度差があるという感想があった。今後は平等な対応やプレゼンができればと思う。

(委員)

十分に潜在能力を生かして運営して欲しい。

(委員)

指定管理料に加えて繰入金があるが、岩木振興公社が負担しているということか。指定管理者が追加で費用を払って運営するというのをどう考えているか。

(施設所管課)

貸館による利用料金収入を検討しており、効果を精査した上で、次の更新に向けて動いていく。繰入金に関しては市も感謝しているが、指定管理者にマイナスが生じないようにしたい。

(委員)

2年間の指定管理期間中でどうしていくか考えていくということか。

(施設所管課)

そのとおりである。

(委員)

消耗品費や通信運搬費が考えられていない。市で買って補給したり、電話代は市の支払というような状況でなければ、必要経費は見るべきだろう。

(施設所管課)

今年度も裏の薪置き場の解体経費は博物館で負担して解体した。必要なものは市の経費を導入して対応していく。

(議長)

他に質問等がなければ、鳴海要記念陶房館の指定管理者候補者の選定案については、妥当であるとしてよろしいか。

<委員了承>

(議長)

次に、教育委員会から、旧藤田家住宅の指定管理者候補者の選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(委員)

実績が上がっている施設だろう。利用者もなかなか望めないところを非常にうまく工夫して伸ばしている。今後の提案も着実なものを掲げており信頼できると思った。

郷土文学館は同じ団体が指定管理を行っており、市の施設として協力して運営ができるのではないか。

(施設所管課)

現在も同一の指定管理者であるため協力しており、相互のイ

	<p>ベントに係るチラシ配布等を行っている</p> <p>(委員) 市の予算では指定事業費が0円だが、指定管理者候補者は24万円と提示しており、指定事業の内容はなにか。</p> <p>(施設所管課) 町並み等の展示、講演会、朗読会、津軽出身の文学者の紹介が指定事業である。</p> <p>市の予算では、報償費等に指定事業の費用を含めて計上しているため、指定事業費は0円になっているが、指定管理者候補者は市の指定事業費を抜き出して24万2千円として提示している。</p> <p>(議長) 他に質問等がなければ、旧藤田家住宅の指定管理者候補者の選定案については、妥当であるとしてよろしいか。</p> <p><委員了承></p> <p>(議長) 今後の予定について事務局から説明をお願いします。</p> <p><事務局から今後の予定について説明></p> <p>(議長) 質問がなければこれで案件審議を終了する。</p>
その他必要事項	会議は非公開である。